

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年1月14日
【四半期会計期間】	第26期第3四半期（自平成26年9月1日至平成26年11月30日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 八百 博徳
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 野崎 伸一
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 野崎 伸一
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第3四半期連結 累計期間	第26期 第3四半期連結 累計期間	第25期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 11月30日	自平成26年 3月1日 至平成26年 11月30日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	5,006,098	5,318,596	7,020,993
経常損失 (千円)	164,061	63,841	165,558
四半期(当期)純損失 (千円)	166,191	17,249	178,845
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	153,075	12,308	179,202
純資産額 (千円)	1,778,082	1,680,918	1,740,449
総資産額 (千円)	4,046,400	3,717,744	3,464,310
1株当たり四半期(当期)純損失 金額 (円)	20.21	2.10	21.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.1	44.7	49.6

回次	第25期 第3四半期連結 会計期間	第26期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 9月1日 至平成25年 11月30日	自平成26年 9月1日 至平成26年 11月30日
1株当たり四半期純損失金額 (円)	6.31	0.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,318百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失は68百万円（前年同期は164百万円の営業損失）、経常損失は63百万円（前年同期は164百万円の経常損失）となりましたが、当社の創業者であり前代表取締役社長であった久保敏志が平成26年5月20日に逝去したことに伴い、受取保険金等を特別利益に122百万円及び社葬費用・カード事業からの撤退に伴う事業整理損等を特別損失に59百万円計上したことにより、四半期純損失は17百万円（前年同期は166百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、当社でキャラクターの権利を取得できなかったゲーム・コミック及びアニメなどで展開されたキャラクター及び大ヒットした映画キャラクターがブームとなり、非常に厳しい状況となりました。

このような状況のもと、有力なキャラクターの権利取得が第一と考え、グループで版權取得を一元管理する体制に移行し、業務効率の向上及びキャラクター契約のスピードアップを進め、競合他社と差別化できる商品づくりを推進してまいりましたが、業績向上には十分な成果を上げることができなかったこと等により売上高は2,353百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、当期の取り組みでもある新規得意先獲得もある程度の成果はありましたが、前期好調であったムック本及び雑誌の付録が減少したこと等により、売上高は471百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

利益面では、固定費の削減等を行いました。第2四半期連結会計期間において、過剰在庫商品の在庫評価損を計上したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は2,824百万円（前年同期比2.2%減）、営業損失は158百万円（前年同期は186百万円の営業損失）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、前期より好調であった「なめこ栽培キット」の落ち込み、かねてより不採算であったカード事業からの撤退等がありましたが、ゲーム・コミック及びアニメなどで展開されたキャラクターが大ブームとなり、多くの得意先様の店頭へ導入できたことに加え、大ヒットした映画の影響によりアニメキャラクターグッズの売上も大きく伸長しました。

また、前期より好調であるゆるキャラも引き続き堅調に推移しました。

今後におきましても新たな得意先様の獲得、企画イベント等を実施しさらなる売上の拡大と利益の確保に注力してまいります。

以上の結果、売上高は2,494百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は52百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

(2)財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて253百万円増加し、3,717百万円となりました。これは主に、保険積立金（投資その他の資産「その他」）が189百万円減少いたしましたが、現金及び預金が103百万円、受取手形及び売掛金が94百万円、商品が187百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて312百万円増加し、2,036百万円となりました。これは主に、買掛金が215百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて59百万円減少し、1,680百万円となりました。これは主に、利益剰余金が62百万円減少したこと等によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動
該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,359,103	8,359,103	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	8,359,103	8,359,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成27年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年9月1日 ~ 平成26年11月30日	-	8,359,103	-	441,550	-	472,489

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 134,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,185,400	81,854	-
単元未満株式	普通株式 43,703	-	-
発行済株式総数	8,363,103	-	-
総株主の議決権	-	81,854	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	134,000	-	134,000	1.60
計	-	134,000	-	134,000	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,454	745,566
受取手形及び売掛金	898,332	993,189
電子記録債権	96,658	132,117
商品	374,734	562,553
繰延税金資産	3,922	4,369
その他	85,156	133,330
貸倒引当金	4,481	7,802
流動資産合計	2,096,777	2,563,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	516,195	516,195
減価償却累計額	177,906	188,838
建物及び構築物(純額)	338,288	327,356
車両運搬具	11,858	9,586
減価償却累計額	10,401	7,791
車両運搬具(純額)	1,457	1,794
その他	102,607	117,854
減価償却累計額	79,799	95,316
その他(純額)	22,808	22,537
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	902,048	891,182
無形固定資産		
投資その他の資産	116,513	100,315
投資有価証券	59,779	52,198
繰延税金資産	1,446	1,523
その他	295,655	122,689
貸倒引当金	7,910	13,489
投資その他の資産合計	348,971	162,922
固定資産合計	1,367,533	1,154,420
資産合計	3,464,310	3,717,744

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	483,667	699,601
短期借入金	920,000	950,000
未払法人税等	1,206	15,300
繰延税金負債	511	2,407
賞与引当金	30,169	19,318
その他	136,033	202,686
流動負債合計	1,571,589	1,889,314
固定負債		
繰延税金負債	7,657	11,420
役員退職慰労引当金	144,396	135,872
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	152,271	147,511
負債合計	1,723,861	2,036,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,550	441,550
資本剰余金	472,489	472,489
利益剰余金	846,447	783,938
自己株式	51,244	51,265
株主資本合計	1,709,243	1,646,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,312	13,954
繰延ヘッジ損益	2,827	3,933
為替換算調整勘定	1,974	3,436
その他の包括利益累計額合計	9,510	14,450
新株予約権	21,694	19,754
純資産合計	1,740,449	1,680,918
負債純資産合計	3,464,310	3,717,744

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	5,006,098	5,318,596
売上原価	3,761,280	4,041,187
売上総利益	1,244,818	1,277,409
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	520,784	476,102
賞与引当金繰入額	62,496	19,318
退職給付費用	16,229	19,125
役員退職慰労引当金繰入額	5,385	28,710
貸倒引当金繰入額	1,849	9,132
その他	802,599	793,919
販売費及び一般管理費合計	1,409,344	1,346,309
営業損失()	164,526	68,899
営業外収益		
受取利息	85	93
受取配当金	1,064	952
受取家賃	3,992	4,067
賃貸収入	2,890	5,427
その他	3,688	7,901
営業外収益合計	11,720	18,443
営業外費用		
支払利息	4,074	5,568
賃貸原価	7,002	5,417
その他	179	2,398
営業外費用合計	11,256	13,384
経常損失()	164,061	63,841
特別利益		
固定資産売却益	-	981
新株予約権戻入益	1,076	2,584
受取保険金	-	1,114,853
保険戻戻金	-	3,743
特別利益合計	1,076	122,162
特別損失		
固定資産除却損	-	3,546
社葬費用	-	2,115,97
事業整理損	-	3,44,445
特別損失合計	-	59,589
税金等調整前四半期純損失()	162,985	1,268
法人税、住民税及び事業税	1,752	13,519
法人税等調整額	1,452	2,460
法人税等合計	3,205	15,980
少数株主損益調整前四半期純損失()	166,191	17,249
四半期純損失()	166,191	17,249

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	166,191	17,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,983	358
繰延ヘッジ損益	5,261	6,761
為替換算調整勘定	129	1,462
その他の包括利益合計	13,115	4,940
四半期包括利益	153,075	12,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,075	12,308
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社及び連結子会社(株)サンエス)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
当座貸越極度額	1,950,000千円	1,950,000千円
借入実行残高	920,000	950,000
差引額	1,030,000	1,000,000

(四半期連結損益計算書関係)

1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

前代表取締役社長久保敏志氏の逝去に伴い、生命保険会社より受け取った保険金であります。

2 社葬費用

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

前代表取締役社長久保敏志氏の逝去に伴う、社葬に関する費用であります。

3 事業整理損

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

カード事業からの撤退に伴う商品評価損及び開発費用等であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
減価償却費	41,159千円	50,333千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月18日 定時株主総会	普通株式	49,351	6.0	平成25年2月28日	平成25年5月20日	利益剰余金
平成25年10月11日 取締役会	普通株式	49,351	6.0	平成25年8月31日	平成25年11月15日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月24日 定時株主総会	普通株式	24,687	3.0	平成26年2月28日	平成26年5月26日	利益剰余金
平成26年10月14日 取締役会	普通株式	20,572	2.5	平成26年8月31日	平成26年11月14日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,889,239	2,116,859	5,006,098	-	5,006,098
セグメント間の 内部売上高又は振替高	109,058	72,456	181,514	(181,514)	-
計	2,998,297	2,189,316	5,187,613	(181,514)	5,006,098
セグメント損失()	186,740	7,279	194,020	29,494	164,526

(注)1. セグメント損失の調整額29,494千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,824,471	2,494,125	5,318,596	-	5,318,596
セグメント間の 内部売上高又は振替高	89,922	34,326	124,248	(124,248)	-
計	2,914,393	2,528,452	5,442,845	(124,248)	5,318,596
セグメント利益又は損失 ()	158,172	52,614	105,557	36,657	68,899

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額36,657千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
1株当たり四半期純損失金額	20円21銭	2円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	166,191	17,249
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	166,191	17,249
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,184	8,229,031
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年10月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・20,572千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・2円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成26年11月14日

(注) 平成26年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年1月13日

株式会社エスケイジャパン

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 紳太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一二三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成26年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。